

# 令和2年5月 データから見た業界の動き

## ■ 概 況

5月の山梨県内のD I値は、業種全体で売上高は▲64ポイント（前年比▲58）、収益状況は▲60ポイント（前年比▲44）、景況感▲58ポイント（前年比▲36）となった。この値は、いずれの項目も2011年3月の東日本大震災を上回り、悪化している。

製造業では、売上高▲85（前年比▲70）、収益状況▲75（前年比▲45）、景況感▲75（前年比▲40）、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言発令で外出自粛となったことにより、製造・小売を行っている食品製造業では、来客数減少や学校給食需要の減少により売り上げは対前年比▲20%、酒類製造業では、県外からの観光客の減少、ワイナリーの閉鎖やホテル・旅館・飲食店の休業により、売り上げは前年同月比で▲90%と大幅な減少となった。

金属製品製造業では、中国国内の自社工場は稼働しているが、輸入制限があり国内に部品が入ってこない、6月末まで空港閉鎖され海外への渡航ができず、アジア各地への部品が供給出来ない状況などの報告があった。

非製造業でも、売上高▲50（前年比▲50）、収益状況▲50（前年比▲43）、景況感▲47（前年比▲34）と同様に悪化。食肉小売業では、外出自粛の影響から家庭での食事やバーベキュー等が増加したことにより一時的に売上増、ただし、飲食店・ホテル関係が休業となったため、卸売りは50~80%以上ダウンしている組合員もある。

ガソリンスタンドでは、外出自粛や経済の停滞からクルマの利用が限られ、ゴールデンウィーク中は販売量が例年の▲40%、富士北麓や北杜の観光地では▲50%となったとの報告がされた。この他運輸関係では、県外からの観光客の減少や宴会等が自粛となり、タクシーの利用者が減、修学旅行、海外からの観光客の利用もないためバスの利用も減り、終息の見えない状況に宿泊・観光関連事業者からは総じて先行きに大きな不安を抱えていることが伺える報告が多かった。

徐々にではあるが経済活動の再開がはじまっている。しかし、すでに経営・事業活動の継続を断念する中小企業・小規模事業者も出はじめている。県内の経済力・地域の雇用力の今以上に縮小されないよう、経営を維持する大きな経済措置が望まれる。中央会では雇用調整助成金や持続化給付金の申請支援ほか、中小企業の事業継続力を高める各種支援を行っていく。

## ■ 業界からのコメント （業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照）

### ● 製 造 業

食料品 (水産物加工業)	水産加工業では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う営業自粛で、ホテル・レストラン、居酒屋向けの業務用の売り上げは減少している。
-----------------	---

食料品 (洋菓子製造業)	菓子製造業では、店舗が一部休業していたが、おやつや冷凍関係の売り上げが好調であった。
食料品 (麺類製造)	地場産業センターの閉鎖に伴い、組合では共同販売事業として扱う商品の売り上げが大きく減少している。先行きが不安である。
食料品 (パン・菓子製造業)	緊急事態宣言下の外出自粛により、5月の売り上げは減少し、対前年比▲20%となった。
食料品 (酒類製造業)	観光客の減少、ワイナリーの閉鎖、ホテル・旅館・飲食店の休業により、ワインの売り上げは前年同月比で▲90%となった。
繊維・同製品 (織物)	展示会やイベントが中止となっているため、売り上げは減少している。
繊維・同製品 (織物)	展示会やイベントが中止となっているため、売り上げは前年同月比に比べ▲50%となった。今後の見通しが見えない。
木材・木製品製造	昨年同月対比の売り上げは減少したが、一定の売り上げは確保出来ている。コロナウイルスの感染に関し、今後も予断を許さない状況なので、予防対策をより一層強化していく。
家具製造	景気悪化の影響により、5月の売り上げは大きく減少した。6月以降も大幅な売り上げ増加は見込めない。
印刷・同関連業	緊急事態宣言発令の影響により、イベントやセミナーが中止となったため、印刷業界にも影響がある。売り上げが減少したことにより、休業や従業員の出勤を調整している事業者もある。
窯業・土石 (砂利)	第二東名工事の一部が停止し、県南部の組合員事業所では出荷量が減少。但し、取引先によっては変化が無い。昨年度に比べ、工事量全体は少なくなっている。
窯業・土石 (山碎石)	新型コロナウイルスの感染防止対策として、工事現場や事務所内においても労働環境の改善を行っている。出来るだけ早く終息し、工事現場が今まで以上に活発に再開することを願っている。
鉄鋼・金属 (金属製品製造業)	中国国内の自社工場が稼働したが、輸入制限があり国内に部品が入ってこない状況である。アジア各地では、6月末まで空港閉鎖され海外への渡航ができず、アジア各地への部品が供給出来ない。
鉄鋼・金属 (金属製品製造業)	自動車メーカーは生産規模を縮小しているため、自動車部品関係の売り上げは減少している。

一般機器 (金属製品製造業)	業界では、消費税増税と世界経済の低迷で落ち込み始めていた所へ、新型コロナウイルスの感染拡大により売上げが減少し、大変厳しい状況となっている。終息が長引けば、今後の経営が厳しくなる組合員や、雇用の問題・資金繰り等で大変厳しくなっていく。
電気機器 (電気機械部品加工業)	発注者による計画の見直しなどがあり、新規の積算依頼が▲20%になった。
電気機器 (電気機械部品加工業)	5月後半から、航空機業界は生産調整に入ったり、医療関係も輸出が振るわず低迷している。先行きの不透明感が強く、今後の仕事確保が心配である。
宝飾(研磨)	5月は全てのイベント等が中止となった。資金繰りに関しては、持続化給付金等を活用している。

## ● 非製造業

卸売(塗料)	建築等の業務用塗料の売上げは減少。消費税の増税、米中貿易摩擦、働き方改革による休日増加により販売量が減少した。
卸売(紙製品)	緊急事態宣言の発令で企業活動が縮小したため、物流が減ったことに伴い、排出される段ボールの量が減った。製紙メーカーの休業による古紙の需要低下により売上げが減っている。
卸売(ジュエリー)	国内外のイベント・展示会が中止となり、売上げ販売額が激減している。先行きの見通しは全く立っていない。
小売(青果)	売上げは減少傾向であった。緊急事態宣言が解除され、6月以降は飲食関係の利用者が増加することによる売上げ増加を期待したい。
小売(食肉)	小売りだけを見れば外出自粛の影響で、家庭での食事やバーベキュー等が増加した影響により、前年よりも売上げが増加した。しかし、飲食店・ホテル関係が休業となったため、卸売りが50~80%以上ダウンしている組合員もある。緊急事態宣言が解除されても、飲食店は元の売上げに戻すのには時間がかかると考えている。ホテル関係も同様で、観光客や外国人観光客が戻ってこない限り厳しい状況が続いていく。
小売 (電気機械器具小売業)	5月の売上げは、前年同月比に対する落ち込みが大きい。
小売 (事務機小売業)	官公庁の時短や学校が休業となったため、事務用品の売上げが減少した。
小売 (ガソリン)	5月のGW連休中は例年の▲40%の販売量となった。富士北麓や清里の観光地では▲50%となったガソリンスタンドもある。売上げの減少や原油の価格高騰もあり、経営が厳しくなっている。

宿 泊 業	5月は休業するホテル・旅館が多かった。6月から再開するが、客足はすぐに戻らず厳しい状況は続いていく。ホテル・旅館では、感染予防対策に充分に行い、営業の再開を目指して行く。
美 容 業	組合としては、組合員に対して賦課金の減額の検討やマスクの配布、各行政庁による最新情報をホームページ等で情報提供を行った。持続化給付金申請、コロナ融資、各種給付助成金の支援等、新型コロナウイルス対策支援の周知も行った。休業中の店舗や、今後は閉店する店舗が増加していけば組合員の脱退も増えていく恐れがある。
産業廃棄物処理	各種産業が停滞し、廃棄物の量が減少していることから、売り上げが減少している。
一般廃棄物処理	緊急事態宣言が発令され、観光宿泊施設・レジャー施設・飲食店への外出が自粛となったことから、売り上げ（一般廃棄物収集・運搬業）が減少した。
警 備 業	4月に引き続きイベントや大型スーパー・レストランの駐車場警備、土木工事の現場警備も相次いで中止となったため、5月も売り上げが減少した。
建設業（鉄構）	予定していた建設工事が中止となり、状況は悪化傾向である。
設備工事 （電気工事）	新型コロナウイルス感染拡大の影響は、今のところ電気工事業は大きな影響はほとんど受けていない。設備の老朽化に伴い、既存建物の改修や補修の工事も増えており、電気工事士の仕事場が増えている。電気工事の会社の中にも、新規建設に伴う工事はなくても、改修・補修の工事のみを受注している会社もある。今後の県内の需要については、電気工事を必要とする工事について、多少の減少はあるものの、工事量が半分になるなど極端に需要が減ったりすることは無く、今後も堅調な推移を続けるものと予想している。
設備工事 （管設備）	建設現場・事務所内において感染対策を行っている。朝礼や会議では対人間隔の確保や参加人数の縮小、体温測定や携帯電話やモバイル機器を活用した情報交換、事務所内の換気や時間差による打ち合わせや消毒を実施している。現場の作業員や事務所の事務員はそれぞれの立場で様々な工夫を行い、日々の対策を行っている。
運輸 （タクシー）	県外からの観光客の減少や、緊急事態宣言により宴会等が自粛となったため、タクシーの利用者が減ったため、売り上げが減少した。終息しない限り、業界として売り上げの回復は出来ない状況である。
運輸 （バス）	イベントの中止や学校の修学旅行、海外からの観光客の利用もないため、バスでの移動が減り、売り上げは減少。今後も厳しい状況は続いていく。融資は受けているが、人件費やリース代の支払いが多く今後の不安である。
運輸 （トラック）	公共工事・工場の操業停止や輸送量が減少している。経営に支障が生じており、今後の見通しが立たない。緊急事態宣言解除後の荷動きに期待したい。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2019/5	2020/4	2020/5	2019/5	2020/4	2020/5	2019/5	2020/4	2020/5
売 上 高	-15	-65	-85	0	-60	-50	-6	-62	-64
収 益 状 況	-30	-55	-75	-7	-50	-50	-16	-52	-60
景 況 感	-35	-65	-75	-13	-57	-47	-22	-60	-58

※（（良数値÷対象数）×100）－（（悪数値÷対象数）×100）＝D.I値

